

## 事業所概要

本調査票の記入日： 令和元年 7月5日

設置・運営主体	社会福祉法人さくら会		
設置主体			
経営主体			
事業所名 (園名)	さくら保育園	種別	保育所
所在地	〒 902-0064 那覇市寄宮1-16-10		
電話	098-832-4549	FAX	098-832-4558
Email	<a href="mailto:sakura716@beach.ocn.ne.jp">sakura716@beach.ocn.ne.jp</a>	URL	<a href="http://www.sakura-hoikuen.info/">http://www.sakura-hoikuen.info/</a>
施設長氏名	香村 直子		
調査対応担当者	香村, 島尻, 喜屋武, 大城, 新垣 (所属、職名：園長、主任、副主任)		
利用定員	180名	開設年	昭和 38年 7月 16日
開園時間	7:00~18:00通常保育 18:00から1時間は延長保育となります		

## 【職員の状況に関する事項】

## ① 職員体制（専門職については、追加・修正して入力して下さい）

	園長	主任保育士	保育士	調理員	栄養士
常勤	1名	1名	24名	1名	1名
非常勤	名	名	8名	2名	1名

	看護師、保健師	嘱託医	用務員	事務員	保育支援員
常勤	1名	名	名	1名	名
非常勤	名	名	3名	育休中1名	1名

常勤職員数 30名

非常勤職員数 15名（常勤換算 10名）

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

非常勤職員数	15人	（常勤換算	10人）
うち	保育士	8人	（常勤換算 5人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	3人	（常勤換算 3人）
	その他（ ）	4人	（常勤換算 2人）

前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	1名	非常勤：	2名
	退職	常勤：	2名	非常勤：	3名
常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢			38歳	（	37歳）

② 前年度職員の研修実施・派遣状況 参加人数：延べ            名

研修名称・主催者等：乳児保育、幼児保育、マネジメント、保育教諭免許更新、働き方に関する法令説明会、食育、アレルギー、保護者対応、衛生管理、表現活動に関する研修等職務に応じて職員が参加している。主催者は那覇市、沖縄県、労働局、労務会社、保育教材販売会社、県社会福祉協議会等

③ 期待する職員像職員に求めている人材像や役割

- ・常に保育士として、人を育てているという事を忘れない
- ・常に研究心を持つ
- ・健康な身体をもち、自己コントロールの出来る人
- ・人の役に立つことを率先して出来る人

【サービスの内容に関する事項】

① 理念・基本方針「生き生きとした子どもをめざして」

保育方針  
 ・集団生活の中で、一人ひとりの能力を最大限に発揮させ、豊かな人間性を持った子どもを育成する  
 ・保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す

② 実施している事業

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育（5ヶ月から）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	円／
延長保育	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	300 円／ 1時間
休日保育	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円／
障害児保育	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	円／
一時保育	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円／
放課後児童健全育成事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円／
地域子育て支援センター	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円／
アレルギー等対応給食	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	円／
その他（事業名： ふれあい保育）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	300 円／ 食事する場合

（注）実施の有無についてチェックマークを付し、月額保育料以外に利用料が必要な場合は利用料を記載する。自主事業も含む。

【定員及び現在の利用者の状況】

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり平均児童数	1クラスあたり平均保育士数
0歳児	27	21	2	12	4
1歳児	30	34	2	18	3
2歳児	36	36	2	18	3
3歳児	36	40	2	20	1
4歳児	36	26	1		2
5歳児	15	17	1		1
計	180	174	10	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

## 【施設の状況】

(1) 建物面積 (保育所分)	1663.37	m <sup>2</sup>
	児童1人あたり	9.2 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	424.4	m <sup>2</sup>
	児童1人あたり	2.3 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1 はい <input type="checkbox"/> 2 いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1 はい <input type="checkbox"/> 2 いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	25年

## 保育スペースの状況（保育室以外の保育ができるスペース）

- ・屋上、屋上菜園、ホール、園庭、ウッドデッキ、交流広場有り、また現在一時預かり室が空いているため、その部屋を製作部屋として使用予定、バルコニーなどが有る。

## 【苦情対応】

- 窓口設置                       あり                       なし
- 第三者委員の設置               あり                       なし

## 【サービスの提供内容に関する特色】

## ① 健康管理

- ・市からの保健衛生に関する情報を発信（ポスターの張り出し）、園内外の感染状況掲示、内科歯科検診年2回実施、尿ぎょう虫検査実施、手洗いのポスターを貼りだし見ながら手洗いをする、フッ素洗口、予防接種呼びかけ（MRは確実に声かけている）、毎週金曜健康チェック（頭シラミ、爪）、水分補給、0・1歳児の午睡チェック、1歳・3歳の健診声かけ

## ② 食事

- ・アレルギー食対応、また食器を分けて分かりやすいように変更、季節に合わせた行事食の充実、栄養士による献立、3歳児から5歳児については個々の食べたい時間に食事をし、食べられる量を入れてもらい食事をする。（年長は自ら配膳を行う）又、保護者に関しては試食会に期間も設ける、クッキングもよく行われている。

## ③ 地域との交流

- ・地域のデイサービス、地域のお祭り、イベント、敬老会の余興参加、地域のこども園、小学校の行事に参加

## ④ 施設の公開・見学

他事業所や見学者は随時受け入れを行う。見学者には園内の行事等いろいろ説明も行っている。ホームページにて園舎外観等を公開

## ⑤ ボランティアの受入

・平成 30 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数） 8 名

- ・ボランティアは事前に誓約書を書いてもらい受け入れしている。（小中高生は保護者のサインをもらっている）
- ・職場体験においては、事前にオリエンテーションを行い、子どもとの接し方を教えるようにしている。（MR接種の有無を確認して受け入れている）

## ⑥ 実習生の受け入れ

・平成 30 年度における実習生の受け入れ数（実数） 13 名

- ・看護学生12名、専門学生1名  
（実習生、職場体験、ボランティアすべての受入れについてはMR接種の有無を確認し受け入れている）

## 【料金】（月額保育料及び併設事業以外の保護者負担額）

内容	保護者会費	( 500 円/月・回)
内容	教材費（個人用）	( 750～3500 円/月・回)
内容	主食費（3歳児クラス以上）	( 800 円/月・回)

## 【事業所からのコメント】

- ・さくら保育園は沖縄がまだ米軍統治下時代の1963年、日本政府の沖縄に対する窓口であった「南方同胞援護会」の支援のもと、お年玉配当金で建築され、昭和38年（1967年）「沖縄母子福祉センター設置」に伴い母子福祉事業の一環として、センター内に設置された。
- ・昭和42年に琉球政府から認可をうけ、更に昭和47年（1972年）に社会福祉法人として認可されて、現在に至る。
- ・平成29年度に改定された保育指針のもと、今年は玩具も増やし保育を行う。棚にオモチャを置き、（子どもが自由に選べるようにし）こども主体の保育をやっぺいこう！と子どもも大人も挑戦している状況。人数の多い中、自由に遊びを選ばせ遊ぶことへの安全面での不安が保育士に有り、なかなか踏み込めずにいたが、副主任を始め取り組み方をみんなで話し合い7月からスタートしている。
- ・また食事に関しても、食べたいと思う時間に行けるようにする。また「全量食べた！」という達成感を持たせるために自分で食べられる量を入れるという工夫もしていく。
- ・アレルギー食の子に関しても通常の子とは食器、トレーを変え、また写真を付ける等の工夫も行う。（土曜保育、延長保育時に担当が居ない場合、間違いの無いように）
- ・朝の身支度は昨年まで各クラスに入り9時過ぎより行っていたが、今年の6月より3歳から5歳児は朝登園したら身支度から行うようにしている。そのことにより、活動の時間が少し増えてきたと保育士からの報告がある。
- ・職員の年休に関しても、ワークライフバランスを大事にして取ってもらえるよう協力し合っている。育休明けの職員に関しても、自分の可能な勤務形態を取ってもらう等、配慮している。